事	業	計	画	書

(1)	事業の必要性: (申請に係る事業を実施することの必要性を具体的に記入してください)
2	土地の選定理由: (事業を実施する上で、申請地(農地)を選定せざるを得なかった理由を具体的に記入してください)
3	<ul><li>転用行為の妨げとなる権利(法第3条1項本文に掲げる権利)を有する者の有無及びその者の同意状況:</li><li>有る・ない(○で囲む)</li></ul>
	有るがない(○ C囲む)
4	申請地に係る農地が土地改良区の地区内にある場合はその調整状況:
	特定土地改良事業等の内容: 有る・ない(○で囲む) → (特定土地改良事業等の内容) 事業の種類 事業施行者   施行面積   申請地に関係する面積 施行時期 土地改良財産
5	土地の現況、土地利用計画及び計画面積の積算根拠: (土地の現況) (土地利用計画) 地目ごとに記載すること 土地利用項目別に記載すること
	上地利用項目   所要面積(m²)   計画概要   上地利用項目   所要面積(m²)   計画概要   日
	( )   ( )   ( )   計   (土地利用項目積算根拠)
	土地利用計画図のとおり

	関係法令名	<u></u> 処分権限庁	処分権限庁収受日	処分の見込み
				等毎に処分庁における
届出の   	受理状況等を記述 関係法令名	さること。) <u>処分権限庁</u>	届出の受理等年月日	備考
		<b>-</b> )見込み(所有者の 有る・ない(○で囲む	   同意状況等について記述する。	けること。)
Æ.	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			
表				
	(汚水)			
			込み(許可の日より概ね1年	以内に許可の目的
され	工係る用途に遅滞 ない場合に記述	すること。):		以内に許可の目的
供され	工係る用途に遅滞 ない場合に記述			以内に許可の目的